

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究では、普段の診療で得られた情報を使用させていただくものです。この研究のために、新たに診察や検査などを行うことはありません。以下の情報を研究に用いられたいとお考えの患者さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた患者さんの情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、患者さんに不利益が生じることは一切ありません。下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、奈良県立医科大学学長の許可を得て行います。

① 研究課題名	子宮体癌における治療成績に関する検討			
② 研究期間	実施承認日から 2025 年 12 月 31 日			
③ 対象患者	当院で子宮体癌と診断され治療を行った患者さん			
④ 対象期間	2010 年 1 月 1 日 から 2025 年 3 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学産婦人科学教室			
⑥ 研究責任者	氏名	川口龍二	所属	産婦人科
⑦ 使用する情報等	下記の臨床情報を診療録より収集します。 初発時年齢、経妊経産数、BMI、病理組織型、臨床進行期、TNM stage、術式、術後補助療法の有無、抗癌剤のレジメン、採血データ（腫瘍マーカー、CBC、生化学検査データなど）。			
⑧ 研究の概要	子宮体癌は世界で、女性が罹患する悪性腫瘍としては 6 番目の頻度とされており、先進国においては婦人科癌の中で最も高い発生率です。今後、さらに子宮体癌の発生率が上昇することが予想されています。わが国では、早期子宮体癌に対して 2014 年 4 月に腹腔鏡下子宮体癌根治術、2018 年 4 月にロボット支援下子宮悪性腫瘍手術がそれぞれ保険収載され、当科においても低侵襲性手術として両手術ともに導入して現在にいたっております。今回、子宮体癌における開腹手術、腹腔鏡手術、ロボット手術の治療成績を比較することを目的といたしました。この研究の成果は、今後さらに普及していくことが予想される低侵襲手術（腹腔鏡手術、ロボット手術）を行う上で、重要なデータとなります。			
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日		2025年5月21日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下⑬の問い合わせ先・相談窓口にご連絡ください。			
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。			

⑫ 個人情報の取扱い	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するため、あなたの個人情報が外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問い合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学附属病院 産婦人科 担当者：川口龍二		
	電話	0744-22-3051	FAX 0744-22-4121
	Mail	obgyn @naramed-u.ac.jp	
⑭ 知的財産権	奈良県立医科大学産婦人科に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	この研究は、当科の講座研究費を用いて実施します。しかし、この研究の実施や報告の際に、金銭的な利益やそれ以外の個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切ありません。また、研究に用いる薬の企業との雇用関係ならびに親族や師弟関係等の個人的な関係なども一切ありません。		
⑯ 利益相反	本研究において生じる利益相反については、事前に利益相反管理委員会に申告し、適切な実施体制であることの承認・審査を受けて実施します。		